

元祖 石川書店 WEB版

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

ドーソンの「ダ・ポ」って
巻きたまの「ダ」がおいし
い。

第3話 R02.04.17(金)
「パニックに立ち向かう
ために必要なものとは。」

★今回、紹介する本は、『月の落とし子』（著/穂波了、出版/早川書房）です。

アガサ・クリスティー賞を受賞した作品ですが、ミステリというよりは、「パニック・サスペンス」小説。

物語は、月に降り立った宇宙飛行士たちのエピソードから始まります。謎のウイルスによって隊員が死に、緊急事態に。更に、そんな隊員たちを乗せたロケットが、日本列島に墜落してしまいます。

そして、それはただの墜落事故に終わらず、ウイルスの拡散による大パニック状態に一。そこで、JAXAの所員と、ウイルス研究の学者の二人が解決のために立ち向かっていくスリリングな物語です。

かなりスケールの大きな話ですが、二人の人間を主軸に描いてるので、とても読みやすく、感情移入もしやすいです。想像力のすごさに圧倒される1冊です。ぜひ。



日本にウイルスをばら撒くロケットが落ちてくるお話を、読んでみる...

「そう、希望はある、
いったって。」
(p.349)

「私はもう逃げません。
あなたとずっと
一緒にいます、
約束です。」
(p.280)

想像が激しすぎて、
「このまわ、って、
いい、

ウイルスにたどり着く
人々の姿が
描かれています。★

パニックに立ち向かう
正反対の二人の姿が、
おもしろいです。
また、美しい挿字が、
けなげも盛り上げて
くれます...

石川書店